

みんなの広場

『市ふれあい障害者文化祭』・『ふれあいコンサート』 笑顔で広がった交流の輪

市ふれあい障害者文化祭とふれあいコンサートが市民センターでありました。これは、障害への理解や障害者の自立などを目的に、市手をつなぐ育成会などが毎年開催しているものです。コンサートでは、障害がある人もない人も楽しみながら歌や演奏、ダンスを披露。笑顔があふれ心温まるステージに、障害への理解が深まった1日となりました。



2.26

↑この日のために練習してきた歌を披露する瑠璃光苑音楽クラブ

古伊万里ライオンズクラブが絵本を寄贈 『いまりっ子文庫』が充実の319冊に

古伊万里ライオンズクラブが、市民図書館に絵本31冊を寄贈しました。クラブは、結成10周年を記念して平成25年2月、館内のイスノキコーナーに『いまりっ子文庫』を開設。以来、毎年この時期に絵本を寄贈しています。杉原あけみ館長は、「子どもの心を育てるには、新鮮な絵本が一番。大変ありがたい」と感謝の気持ちを伝えました。



2.21

↑「今後も活動を続けたい」と語る新庄陸三会長(前列左から2人目)

山代緑の少年団と市ソフトボール協会が緑化活動 桜の花で市民の憩いの場に

地域の緑化活動に取り組む山代緑の少年団が、市ソフトボール協会の協力を得て伊万里湾大橋球技場周辺にソメイヨシノの苗木30本を植えました。球技場への植樹はこれで5回目。少年団には山代西小学校の児童7人が所属しています。松永孝三団長は、「少子化で減少する団員を確保しながら、今後も活動していきたい」と話していました。



2.19

↑植樹したソメイヨシノの苗木に添え木を立てる団員

市民図書館『めばえの日・ぜんざい会』 温かいぜんざいで図書館の芽生えを祝福

市民図書館の起工式を祝う記念日『めばえの日・ぜんざい会』が市民図書館でありました。これは、館の運営などに協力する図書館フレンズいまりが毎年この時期に開催しているもので、会員手作りのぜんざい300杯が来館者にふるまわれました。また、いすの木合唱団のコンサートや古本市も行われ、会場は多くの人でにぎわいました。



2.26

↑合唱団の歌声を楽しみながらぜんざいをほおぼる来館者

松浦町家読フェスティバル

家読を通して心を豊かに

地域や家庭に家読の輪を広げようと、松浦公民館で松浦町家読フェスティバルがありました。マリimbaとおはなし“haha”による家読コンサートや松浦保育園、松浦小学校などによる家読の実践発表、松浦町誌の紹介などが行われました。発表者は読み聞かせや絵本の世界の表現など、趣向を凝らした演出で来場者を楽しませていました。



生演奏をバックに絵本の朗読をする『家読コンサート』



↑松浦保育園児による『はらぺこあおむし』の読み聞かせ

『リノベーションまちづくり講演会』

リノベーションで伊万里のまちを元気に

伊万里公民館で、リノベーションまちづくり講演会がありました。これは、人口減少が進む中、空き家など今あるものを生かし、新しい使い方をしてエリアの価値を高めようと、県が開催したものです。リノベーションまちづくりの実践者でもある嶋田洋平さん（リノベリング代表取締役）を講師に迎え、まちづくりの新たな手法を学びました。



↑「補助金に頼らないまちづくりが大切」と話す嶋田さん

緑のリレープロジェクト『森の教室』

森林の役割や大切さを楽しく学ぶ

みなみ保育園で、緑のリレープロジェクト『森の教室』がありました。これは、子どもたちに森の大切さを知ってもらおうと、公益社団法人国土緑化推進機構などが全国を巡回しながら実施しているものです。キャラクターショーや体操、どんぐりを土にまく体験などを通して、園児たちは森の役割などを楽しみながら学んでいました。



みんなで『森の体操』を元気に踊りました



↑まいたどんぐりは2年間で50～60センチに成長するそう

公益社団法人伊万里有田法人会が防滴小型メガホンを寄贈 防災力がアップ！緊急時の強い味方

公益社団法人伊万里有田法人会が、市内小学校16校に防滴小型メガホンを1台ずつ寄贈しました。メガホンは、350センチ先まで音が届くサイレン付きで、乾電池使用の使い勝手が良い小型・軽量タイプ。会は、これまでも公共施設に血圧計を贈っています。岩永健司青年部会長は、「子どもたちに使ってもらい防災教育にも役立ててほしい」と話しました。



↑メガホンを贈った伊万里有田法人会のメンバー